

兵庫県におけるマルケシガムシの記録

脇村涼太郎・保科英人

マルケシガムシ *Cercyon* (*Cercyon*) *rotundulus* Sharp, 1884 はガムシ科ハバビロガムシ亜科の甲虫である。筆者の一人、脇村は兵庫県未記録と思われる本種を採集しているため報告する。



図 兵庫県産マルケシガムシ..

1♂, 兵庫県たつの市新宮町二柏野, 31. VIII. 2018, 脇村採集・保管.

さなぎ粉をベイトにした、深さ 30 cm程に埋めた地中トラップにより得られた。

本種(以下マルケシ)に非常によく似ている兵庫県未記録の陸生ガムシで、セスジケンガムシ *C. (Clinocercyon) aequalis*(以下セスジケン)という種がいる。セスジケンが兵庫県から今後記録される可能性を考えマルケシとの区別点を以下に記す。マルケシとセスジケンは亜属が異なるため、両者を確実に見分けるためには、上翅側片を腹側から見て、亜属の特徴で分ければよい。*Cercyon* 亜属の上翅側片は、上翅外縁に対して、直角に近い角度で曲がるので、中胸腹板と平行に近い状態になる。一方、*Clinocercyon* 亜属は、上翅側片がより鋭く、内部に折れ込むので、中胸腹板に対して、やや立ったような状態になる (Ryndevich, 2004; 2006)。

未筆ながら、写真を撮影していただいた田作勇人氏に御礼申し上げる。

○引用文献

Ryndevich, K. S., 2004. Review of species of the genus *Cercyon* Leach, 1817 of Russia and adjacent regions. I. Subgenus *Cercyon* (s. str.) Leach, 1817. *Cercyon lateralis* – group (Coleoptera: Hydrophilidae). *Annales Universitatis Mariae Curie-Skłodowska*

Lublin-Polonia, Sectio C, 59: 29-41.

Ryndevich, K. S., 2006. Review of species of genus *Cercyon* Leach, 1817 of Russia and adjacent regions. III. Subgenera *Clinocercyon* Orschymont, 1942 and *Conocercyon* Hebauer, 2003 (Coleoptera: Hydrophilidae). *Zoosystematica Rossica*, 15: 315-320.

(Ryōtarō WAKIMURA 東海大学生物学部)

(Hideto HOSHINA 福井大学教育学部)

加西市と明石市でタイワンタケクマバチを追加確認

柴田 剛

タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787) は、これまで兵庫県内では尼崎市(上森, 2018)、神戸市(吉田, 2021)及び明石市、小野市、加古川市(柴田, 2020)で確認されているが、このたび明石市の別の場所と加西市で新たに確認したのでここに報告する。

なお、本種の和名についてはタケクマバチへの改名が提唱されていると聞かすが、分類の見直しに伴うものではないようなので、既存情報との統一を図るため表題は



図 タイワンタケクマバチ♀, 加西市倉谷町, 2021年8月25日.

タイワンタケクマバチの名称を使用した。

【確認情報】

1 撮影：明石市明石公園

確認年月日：2021年6月14日

目撃：♀数個体

訪花植物：サンゴジュ(レンプクソウ科)

2 撮影：明石市大久保町八木(八木遺跡公園)

確認年月日：2021年8月4日

目撃：♀2個体

訪花植物：ハナツクバネウツギ(スイカズラ科)

宝塚市におけるタイワンタケクマバチの記録

宇野宏樹

タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* は国内では 2006 年愛知県豊田市で初めて確認された、台湾・大陸中国南部からインドにかけて自然分布する外来種の本種である(国立環境研究所, 2021)。兵庫県下での本種の公式の記録としては尼崎市・小野市・明石市・西宮市・赤穂市・加古川市・神戸市での記録が挙げられる(上森, 2018; 柴田, 2020; 宇野, 2021; 吉田, 2021)他、インターネット上には非公式の記録であるが宝塚市や三田市の目撃例も見られる。しかしながら、宝塚市における公式の記録は無いと思われるので、筆者の採集例を報告しておきたい。



図 宝塚市で得られたタイワンタケクマバチ.

1ex. (図), 兵庫県宝塚市逆瀬川 2 丁目阪急逆瀬川駅. 14. V. 2021. 筆者採集保管.

本記録は、阪急逆瀬川駅の出口付近で床に落ちていた個体を採集したものである。

○参考文献

- 上森教慈, 2018. 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集. きべりはむし, 41 (1): 31.
 柴田 剛, 2020. 小野市と明石市でタイワンタケクマバチを確認. きべりはむし, 43 (2): 55.
 宇野宏樹, 2021. 兵庫県におけるタイワンタケクマバチの追加記録. 月刊むし, 604: 56-57.
 国立環境研究所, 侵入生物データベース. タイワンタケクマバチ. <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60530.html> (2021 年 5 月閲覧)
 吉田浩史, 2021. 神戸市内からのタケクマバチの記録. きべりはむし, 44(1): 102-103.

(Hiroki UNO 兵庫県西宮市)

3 採集: 明石市藤江 (藤江海岸)

確認年月日: 2021 年 8 月 4 日

目撃: ♀ 2 個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: ハマゴウ (シソ科)

4 採集・撮影: 加西市網引町 (下池の土手)

確認年月日: 2021 年 6 月 22 日

目撃: ♀ 数個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: ムラサキツメクサ (マメ科)

5 採集・撮影: 加西市網引町 (万願寺川の岸)

確認年月日: 2021 年 6 月 28 日

目撃: ♀ 数個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: トウネズミモチ (モクセイ科)

6 撮影: 加西市玉丘町 (玉丘史跡公園)

確認年月日: 2021 年 8 月 25 日

目撃: ♀ 数個体

訪花植物: ミソハギ (ミソハギ科)

7 撮影: 加西市倉谷町 (アシガ池の岸)

確認年月日: 2021 年 8 月 25 日

目撃: ♀ 1 個体

訪花植物: ミソハギ (ミソハギ科)

8 撮影: 加西市笹倉町 (宇双下池の土手)

確認年月日: 2021 年 9 月 1 日

目撃: ♀ 数個体

訪花植物: ノアズキ (マメ科)

○参考文献

- 上森教慈, 2018. 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集. きべりはむし 41(1): 31
 柴田剛, 2020. 小野市と明石市でタイワンタケクマバチを確認. きべりはむし 43(2): 55
 吉田浩史, 2021. 神戸市内からのタケクマバチの記録. きべりはむし 44(1): 102

(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)